



株式会社麻生 飯塚病院

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3番83号
TEL 0948-22-3800[代表]
URL <https://aih-net.com/>

教育推進本部
TEL 0948-29-8904
MAIL education-info@aih-net.com
研修医・専攻医ホームページ
URL <https://aih-net.com/resident/>



Passion
+



情熱が未来を拓く

ASO IIZUKA HOSPITAL
Junior & Senior Residency Program

Passion + !

情熱が未来を拓く

医師として大切にしたいこと、理想とすることは何ですか？

今思い浮かべたその想いを実現させる原動力となるのは、

あなたの持っている「情熱」です。

その「情熱」を当院が全力でサポートします。

CONTENTS

- 01 目次
- 02 ご挨拶
- 03 +Chance [特長] 飯塚病院の研修を象徴するプラスアルファの魅力
- 05 +Experience [初期研修プログラム] 臨床教育の実績があるからこそ、辿りついたカタチ
- 07 初期研修医の1日
- 09 +Action [専門研修プログラム] 豊富で多彩な症例。だから臨床力に実力と自信がつく
- 12 専門研修プログラム連携施設
- 13 病院概要／数字で見る飯塚病院／コラム
- 14 処遇・福利厚生／アクセス／現地案内図



飯塚病院 院長
本村 健太

飯塚病院は、国内では大学病院以外には数少ない1,000床規模の総合病院で、人口約40万人の筑豊地区の医療を支える基幹病院です。救命救急センターを持ち、地区の過半数の救急患者を受け入れているのと同時に、地域医療支援病院、がん診療連携拠点病院であり、各専門診療の領域においては、臓器移植や一部の先進医療を除くほぼ全ての領域で最新の高度医療を提供しています。また、高齢化が進んだ地域であるため、複数の基礎疾患を抱えた高齢の患者が多く、その多くに対応する総合診療科が大きな存在になっています。診療科間や多職種との連携はかなり柔軟に行われており、他院から異動して来られた医師からは、忙しいけれどもとても仕事がしやすい、という感想がよく聞かれます。

病院の特徴として、私立(企業立)の病院であることもあって、複数の改善活動を熱心に行っていることが挙げられます。また、病院独自の臨床研究助成や学術奨励賞制度を設けており、多くの診療科・部署が臨床研究を積極的に行っています。こればかりは、複数の病院で勤務してみないとわからないことですが、国公立病院とは雰囲気違って前向きな活気がある病院なのです。外部組織による評価も積極的に受けており、日本病院評価機構による病院機能評価以外を始め、継続的に業務を改善する仕組みを審査する国際規格ISO9001の認証も取得しています。さらに、2022年度には、医療の質を高め、患者の安全と満足を最優先に考える「TQM(総合的品質管理)」の優れた実施が評価され、日本の病院としては初めてデミング賞を受賞しました。

飯塚病院は臨床研修病院としても30年以上の長い歴史があり、初期研修医・専攻医の指導体制、研修環境への配慮は極めて充実しています。皆さんはその中で、真摯に診療に向き合う仲間とともに豊富な症例を経験して成長していきます。今までに当院で研修を修了した医師たちは海外を含め幅広く活躍していますが、中にはそのまま飯塚病院や関連病院での診療・教育に携わる医師たちもいますし、大学医局への入局や他の病院で経験を積んで専門医・指導医になって飯塚病院に戻ってきてくれた医師たちもいます。私たちは、飯塚病院で研修する皆さんが、先輩たち同様、ないしはそれ以上に、将来の医学・医療を支える柱になって活躍していくことを期待しています。



研修管理委員長
井村 洋

当院の魅力は大きく分けて3つあります。

まず1つ目は、救急外来診療及び緊急入院の病棟診療において十分な経験が積めることです。これには診療人口圏約40万人の地域において唯一の救命救急センターであることが関係しています。

2つ目は、50名以上のジェネラリストの存在です。初期研修医にまず求められるのは、ジェネラリストとしての能力だと考えています。それを専門としている医師のもとで能力を習得する場があり、相談をしながら教えることができます。それに加え、高度急性期レベルで診療ができる専門家がいることが3つ目の強みです。

大学病院同等の専門診療科があるため、この地域内で大学病院クラスの医療を経験しながら総合医以外の芽を開くことができます。そのような病院はかなり限定されますから、自身の進路決定に大きな影響を与えるでしょう。しかし、皆さんは将来を決める前に初期研修先・専門研修先を選ぶことになるかと思います。研修先の選択においても明確なゴールが決まっているのであれば、そこから逆算してゴールに辿り着くために必要な経験を積める道を選んでください。まだゴールが定まらない人は、自分がその組織に入ったところを想像してみましょう。

理屈ではなく直感で、わくわくできそうな道を選ぶと良いのです。このアドバイスの裏には、この業界における「協調性」の重要度の高まりが関係しています。私たちが求めるのは、仲間と一緒に協力・協調しながら成長しようという意思のある人です。もちろん院内でも人間関係の構築には配慮していて、研修医は年に2回、研修についてディスカッションする場を設けています。

親睦を深める意味もありますが、研修中は一度立ち止まって気持ちを整理する時間が大切です。このように、当院ではリソースの優位性を活かしたサポートはもちろん、研修医の意見を聞きながら各自に合わせた教育を施す体制を整えています。



Passion + Chance!

仲間の熱意に触れて、自身の原動力に変える

あなたを学びに駆り立てるのは
活気に満ちた環境



飯塚病院の研修を象徴する プラスアルファの魅力

臨床研修病院としての歴史は30年以上。長い年月をかけ、研修医を育成していく体制づくりに病院全体で取り組んできました。「医師として成長してもらうために」という指導医の想いと、「学びたい」という研修医の気持ちを大切にしながら「個別にアドバイスするもの」「小グループでディスカッションするもの」「講義形式のもの」など多種多様なレクチャーを実施しています。医師としての知識や技能、姿勢が向上するカリキュラムはもちろんのこと、さらに能力を高めるために準備されたプラスアルファの“機会”により医師としての成長力が養われます。



院内の随所で開かれるさまざまなレクチャー

指導医がテーマ別によく出会う症例や対処法を実際の写真を用いて詳しく解説する実践型のコアレクチャーをはじめ、診療科別の講義・講演や研修医主体で企画するグループワークなど、院内で開かれるレクチャーは多岐に渡ります。



充実したフィードバックと情報共有

日々の診療についてはもちろん、コミュニケーションのとり方や書類の書き方など、指導医による細かなアドバイスが受けられます。若手医師たちは助け合いの精神が根付いており、事例をシェアするなど常に意欲的です。



志を同じくする仲間たちとの出会い

当院の医師は約380名(2024年6月現在)、スタッフの総数は約2,500名にのぼります。さまざまな機会を通してスタッフ同士が知り合い、繋がりを深める中で、志を同じくする仲間にも巡り会うことができます。

Passion + Experience!

初期研修プログラム Junior Residency Program

臨床教育の実績があるからこそ、辿りついたカタチ

プライマリ・ケアの習得から、 専門研修への移行がスムーズなプログラム

当院では、1989年に厚生省(現・厚生労働省)より臨床研修病院に指定された当初から、総合診療方式(スーパーローテート)で研修を行ってきました。以来蓄積してきた教育ノウハウと、教え合い学び合うshareの精神の文化が医師としての第一歩を踏み出す先生方の成長を後押しします。1年次は基本的な考え方や手技を各科で学び、2年次では各自が将来専門に学ぼうとする分野を中心に5~7科を自由に選択することができ、その後の専攻医としての研修と整合性が持てるようにしています。このように当院の研修プログラムは、プライマリ・ケアの研修から始まり、スペシャルティ研修の導入までを目指し切れ目のない研修が可能です。経験豊富な指導医によるフィードバックと、志の高い同期間の切磋琢磨が研修医の学びをより豊かなものにします。専門研修を希望する医師は、当院基幹プログラムでの研修を続けることも可能です。



■ローテーション例(2025年度予定)

■ 厚生労働省の定める必須診療科 ■ 飯塚病院独自の必須診療科 ■ 自由選択期間

初期1年次

内科							
自由選択期間	救急科	小児科	産婦人科	外科	麻酔科	脳神経外科	自由選択期間

初期2年次

内科						
循環器内科	内分沁・糖尿病内科	救急科	リエゾン精神科	地域医療	一般外来	自由選択期間

- 自由選択期間は約7ヶ月(内科自由選択期間含め約9ヶ月)
- 自由選択期間では、院内全ての専門診療科や細菌検査室、エコー室などからローテーション先を選択することができます。1年次は入職前に希望調査を行いローテーション先を決定します。2年次は1年次の冬頃に希望調査を行い、2年次のローテーション開始直前まで調整を行うため、自身の進路にあわせたローテーションを作成することが可能です。
- 一般外来研修は、総合診療科での外来研修及び地域医療研修との並行研修となります。

※ 今後、関係法令の改正等が行われた場合は、飯塚病院の臨床研修プログラムが変更になる可能性があります。

特徴のあるイベント

さまざまな主訴、さまざまな疾患の患者さんが日々訪れる救急外来では、症例によっては初期診断から初期治療介入まで迅速に行わなければ生命に危険があるもの、機能予後を左右するものがあります。それらに対応できるよう当院ではTriage & Action (T&A)と題してシミュレーションコースを準備しております。コース内で取り上げる内容は、当院の救急外来部門から入院した疾患を頻度の高いものから順に選ぶなどして、毎年改訂を行っており当院オリジナルの内容となっています。また実技だけでなく、月に2回各診療科が持ち回りでレクチャーを担当するコアレクチャーも準備しており、経験豊富な指導医が現場で役立つ実践的な知識を共有しています。その他にも当院ではレクチャーの機会を多数準備しており、過去のレクチャーライドは全て24時間365日いつでもアクセス可能となっているため、自己学習に活用することも可能です。

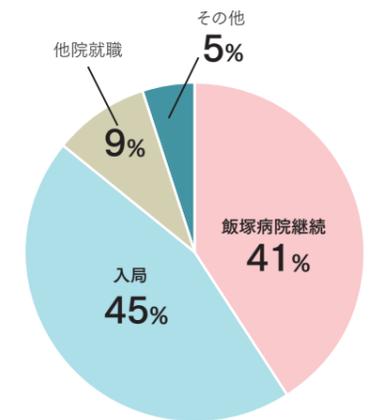
研修医のサポート体制

初期臨床研修は社会人としての第一歩でもあります。慣れない環境での新たな生活を行う研修医のサポート体制も充実しています。入社後、ローテーションを開始する前にオリエンテーション期間を約2週間設けています。医療安全に関する講習をはじめ、手術室・救急外来での心得、採血や手技の実習など座学と実技を交えた導入講習を実施しています。また、各部署からさまざまな職種の講師が参加するので、他職種について理解し、交流を深める機会になります。また、毎年2回の臨床心理士との定期個別面談に加え、同期全員が参加する院外宿泊研修も行っています。宿泊研修では研修医自身が行き先を決め、宿泊先の手配なども全て研修医自身が行います。宿泊研修中はオンコールなど病院からの問い合わせもなく、業務から離れた環境の中で同期とさまざまな思いを共有することができます。研修後は、病院に対して研修医から改善してほしい点を提言する場があり、指導医と直接話しをすることも可能です。これらのプログラムだけでなく、初期研修の2年間は専属のスタッフがそれぞれの状況に合わせて適宜サポートを行っています。



初期研修修了後の進路

初期研修医~専攻医、専攻医~スタッフ医と院内でのキャリアパスが可能となっています。1年次から進路相談は随時受け付けており、当院以外の進路も含めて研修医一人ひとりの希望に合わせた進路をご提案いたします。



2014~2020年度データ参照

臨床研修指定病院になって35年

2023年度までに
輩出した研修医数 **413名**(第1期~34期)



Schedule

日勤(麻酔科)の場合

日勤



初期研修医紹介



初期研修医/九州大学 2022 年度卒
塗木 海斗

教育体制について

当院では屋根瓦式の指導体制となっており、研修医が一人で判断することはなく安心して安全に研修・診療を行える場が整っています。「シェアの文化」が根付いており、研修医間で症例のシェアをすることも多く、それぞれ教え合いながら時に指導医からのアドバイスをもらいながら勉強しています。

平日の業務後や休日の過ごし方

平日の業務後は研修医室で互いにその日の症例を振り返ったり、近くのお店でご飯を食べたりしています。上級医・指導医とご飯に行く機会も多く、交流を深めることができます。休日は同期や先輩後輩と出かけたり旅行したりと気分転換もしながら良い研修生活を送ることができています。

Schedule

日勤+準夜勤務(総合診療科)の場合

日勤



院内待機について

ローテーションに関わらず救急外来での院内待機(内科・外科)を月に数回担当します。また、1年次の救急科ローテーションを修了すると、救急車当番の機会も設けられています。このように院内待機でも各診療科のスペシャリストたちから診断や治療を学ぶ機会があります。

初期研修医紹介



初期研修医/鹿児島大学 2022 年度卒
渡邊 安未

研修環境について

学会や勉強会参加に対して交通費等の費用補助制度があり、1年で様々な勉強会に参加させていただきました。また、医学だけではなく英語教育にも力を入れており、院内で業務の合間に英会話や論文の添削をしていただく部署や英語を学ぶオンラインサービスを無料で利用できるサービスもあります。

同期の雰囲気

皆研修に対して真面目に取り組んでいるので私も頑張ろうと思いますし、分からないことも一緒に調べてくれたりと自然と切磋琢磨しあえるような仲を築いています。また、プライベートでも仲がよく休日是一緒に食事や旅行に出掛けることが多いです。それぞれ個性や魅力が溢れる18人が集まっています。毎日一緒にいても飽きず同期に恵まれていることに感謝しています。

Passion + Action!

専門研修プログラム Senior Residency Program

豊富で多彩な症例。だから臨床力に実力と自信がつく

内科／総合診療／救急科／麻酔科／外科／産婦人科／小児科
 本院が提供する7領域の専門研修プログラムをご紹介します。

内科プログラム

定員：16名 研修期間：3年

将来のキャリアパスに合わせて柔軟に対応できるよう複数のコースを用意しました。内科医としての基礎を固めたい、総合内科医として活躍したい、並行して専門領域の研修も始めたいなど、さまざまなニーズに17の内科診療科が連携して応えます。

内科診療17科目

肝臓内科／呼吸器内科／心療内科／内分泌・糖尿病内科／消化器内科／血液内科／総合診療科／膠原病・リウマチ内科／連携医療・緩和ケア科／腎臓内科／循環器内科／脳神経内科／漢方診療科／救急科／呼吸器腫瘍内科／感染症科／集中治療科

当プログラムのポイント

- 1 多彩な症例**
多くの指導医とともに多彩な症例を診ることができます。
- 2 多数の診療科目**
17の内科診療科の全てが選択可能で専門科を勉強しながら内科の基礎を固められます。
- 3 重症患者アフターケア**
内科系重症ケアに特化したチームでの研修が可能なので重症患者のケアもしっかり行えます。
- 4 救急スキル**
救命救急センターでの救急車やwalk-inの診療に定期的に参加するので、救急スキルも身につけられます。
- 5 指導力**
指導に対するフィードバックも豊富で指導力も身につけられます。
- 6 万全のバックアップ体制**
学会発表や論文作成時も全面的にバックアップします。
- 7 海外臨床留学**
海外の病院と提携しているので臨床留学も可能です。

■基本ローテーション(年間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	所属診療科研修			救急科研修	飯塚病院 内科系診療科から選択				連携施設研修			
2年次	所属診療科研修			飯塚病院 内科系診療科から選択			連携施設研修					
3年次	所属診療科研修						連携施設研修					

※ローテーションは所属した診療科によって異なります。

総合診療プログラム

定員：6名 研修期間：3年

本院(1,048床)で救急／急性期医療及び専門医療と、穎田病院(96床)でプライマリ・ケア外来、地域包括ケア病棟、在宅医療などの地域包括ケアを実践できるプログラムになっています。本院と穎田病院の診療圏が重なっているため、同じ患者に対し継続診療の経験を積むことができます。

当プログラムのポイント

- 1 多数の専門医輩出**
家庭医療プログラムは7期が修了し、家庭医療専門医9名を輩出しています。
- 2 活気にあふれた現場**
在籍中の専攻医は16名(2024年4月現在)で、現場も活気にあふれています。
- 3 定例のケースカンファ・ジャーナルクラブ**
毎週のケースカンファとジャーナルクラブ、毎月のレジデント・デイでのレクチャーやポートフォリオ作成支援、研修のフィードバック体制、自主的な勉強の機会などが整備されています。
- 4 海外との施設連携**
米国やシンガポールとの施設連携もあり、グローバルな視点で家庭医療／総合診療を学ぶことができます。
- 5 近隣病院との連携**
本院では総合内科を、穎田病院ではプライマリ・ケア外来・地域包括ケア病棟・在宅ケアを学べます。

■基本ローテーション(年間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	飯塚病院 救急科研修			飯塚病院 総合診療科研修			穎田病院 研修			飯塚病院 小児科研修		
2年次	飯塚病院 内科系診療科から選択						穎田病院 研修					
3年次	飯塚病院 総合診療科研修			飯塚病院 内科系診療科から選択			穎田病院 研修					

■領域研修合計(僻地・過疎地域30ヶ月)内科12ヶ月、総診Ⅰ12ヶ月、総診Ⅱ6ヶ月、小児3ヶ月、救急3ヶ月 ※ローテーションは本人の希望も踏まえ調整します。

救急科プログラム

定員：4名 研修期間：3年

1次から3次まで、僻地・離島あるいは大都市における全ての救急診療に対応できる基本的能力を身につける救急科専門医を育成するとともに、救急科専門医取得後のキャリアプランも見据えた研修を提供します。

当プログラムのポイント

- 1 救急症例経験**
1次から3次まで年間約20,000人の救急患者を受入れていますので、幅広い症例を経験できます。
- 2 基本的能力の育成**
僻地・離島あるいは大都市における全ての救急診療に対応できる基本的能力を身につけることができます。
- 3 外傷救急専門医**
脳神経外科、外科の医師がERを兼任しており、外傷に強い先輩医師から指導を受けられるので外傷に強い救急科専門医を目指すことができます。
- 4 サブスペシャルティ研修**
麻酔、集中治療、内視鏡や総合診療科などのサブスペシャルティ研修や希望するサブスペシャルティ領域の研修ができます。
- 5 自由度の高いローテーション**
3年間で15ヶ月は救急科以外のローテーションが可能です。

■基本ローテーション(年間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	飯塚病院 救急科研修									飯塚病院 診療科から選択		
2年次	飯塚病院 救急科研修						連携施設研修					
3年次	飯塚病院 救急科研修						飯塚病院 診療科から選択					

麻酔科プログラム

定員：2名 研修期間：4年

外科系手術症例(麻酔科管理約4,200例)が豊富で、本院外科系診療科の全ての麻酔依頼症例に対応可能です。連携施設では、小児複合心奇形手術やペインクリニック診療、集中医療診療の研修を行い、内容・進行状況に配慮しています。プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な症例を達成できるよう12の研修施設においてローテーションを構築しています。

当プログラムのポイント

- 1 心臓血管麻酔専門医**
本院は心臓血管麻酔専門医認定施設に認定されており、研修を通じて心臓血管麻酔専門医を目指すことが可能です。
- 2 豊富な症例数**
年間4,000例以上の麻酔科管理症例があります。
- 3 サブスペシャルティ研修**
院内でペインクリニック・集中治療研修・緩和ケア研修が可能です。

■基本ローテーション(年間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	救急科研修	飯塚病院 麻酔科研修										
2年次	飯塚病院 麻酔科研修						連携施設研修					
3年次	飯塚病院 麻酔科研修											
4年次	飯塚病院 麻酔科研修											

※連携施設研修の時期や研修先は本人の希望も踏まえ調整します。

外科プログラム

定員：5名 研修期間：3年

外科系各科(外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科)での研修をはじめ、救急科、集中治療科、麻酔科など、外科専門医取得のための症例を経験していただけます。本人の希望があれば消化器内科や呼吸器内科など院内各診療科へのローテーションも可能です。

当プログラムのポイント

- 1 豊富で多彩な外科系症例**
当院は筑豊地域の中核病院であり、豊富で多彩な外科系症例が多く集まります。
- 2 エリア唯一の3次救急センター**
筑豊地域では唯一の3次救命救急センターを併設しているため、救急疾患において多くの貴重な経験を積むことができます。
- 3 救急疾患への診療技術の体得**
緊急手術症例を含む多くの外科系救急患者の診療を行っているため、救急疾患への診療技術も体得できます。
- 4 段階的な手術経験**
病棟での術前術後管理と、多くの手術に参加し手術手技が習得できます。
- 5 基本的手技のマスター**
1年次前半は、助手としての技術や結紮・縫合などの基本的手技をマスターし、後半からは低難易度手術の術者、以後、徐々に中・高難易度の手術を段階的に経験(症例によっては執刀)できます。

■基本ローテーション(年間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	飯塚病院 診療科研修											
2年次	飯塚病院 診療科研修						連携施設研修					
3年次	飯塚病院 診療科研修						連携施設研修					

産婦人科プログラム

定員：4名 研修期間：3年

市中病院でありながら、産婦人科の研修病院としての条件を満たしている数少ない病院のひとつです。初期研修で学ぶ基本的な事項に加え、産婦人科専門医として必要な、より専門的な知識と診療技術の習得を目指しています。

当プログラムのポイント

- 1 豊富な症例数**
周産期医療と婦人科がん診療にて多くの症例経験が可能です。
- 2 充実した環境**
総合周産期母子医療センターであり、地域の中核病院としてあらゆる疾患に対応可能です。また、手術など技術に関して熱心な指導体制も整っています。
- 3 サブスペシャリティ研修**
周産期・婦人科腫瘍・内視鏡の修練施設であり、産婦人科一般診療のみならず、サブスペシャリティ研修も並行して行えます。

■基本ローテーション(年間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	飯塚病院 産婦人科研修											
2年次	飯塚病院 産婦人科研修				連携施設 地域医療研修				連携施設研修			
3年次	連携施設研修		連携施設 生殖医療研修		飯塚病院 産婦人科研修							

※連携施設研修の時期や研修先は本人の希望も踏まえ調整します。

小児科プログラム

定員：2名 研修期間：3年

中核病院の小児科として高度な専門医療に対応するため、小児科だけではなく関連各専門領域に小児医療の経験豊かな専門医を有し、連携して診療を行っています。また、救急患者を受け入れる体制も有しているため、小児科医として欠くことのできない救急疾患の対応、急性疾患の管理など幅広い疾患の研修が可能です。

当プログラムのポイント

- 1 豊富な指導医数**
日本小児科学会小児科指導医4名、小児科専門医9名が在籍しています。(2024年4月現在)
- 2 多様な研修プラン**
専攻医のライフステージや将来像を踏まえた研修プランを準備しています。
- 3 豊富な教育実績**
毎年16名前後の研修医の研修受け入れによる教育実績があります。

■基本ローテーション(年間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	飯塚病院 小児科研修											
2年次	飯塚病院 小児科研修						連携施設研修					
3年次	飯塚病院 小児科研修											

※希望・将来像、研修達成度などを基に、研修内容・連携施設・時期などを決定します。

専門研修プログラム連携施設 ※2024年4月現在

内…内科 総…総合診療 救…救急科 麻…麻酔科 外…外科 産…産婦人科 小…小児科

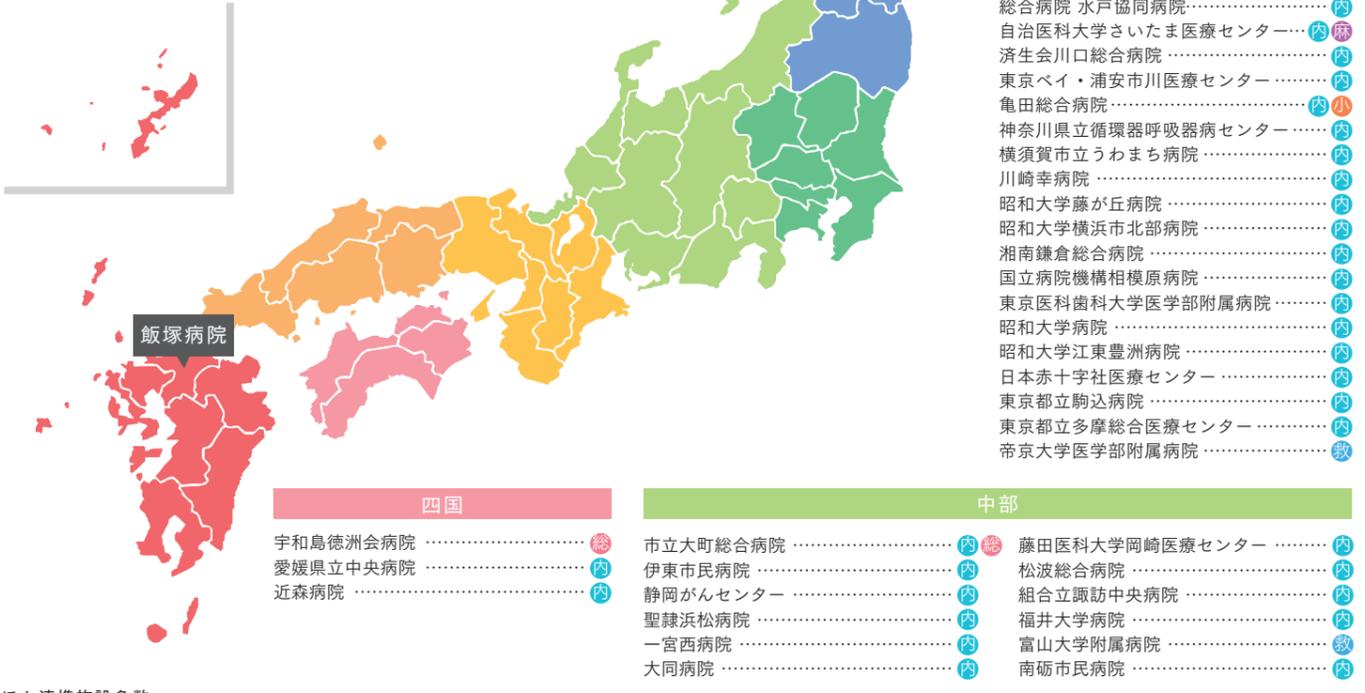
- 中国**
- 広島市民病院 ……救
 - 倉敷中央病院 ……内
 - 鳥取大学病院 ……救
 - 鳥根県立中央病院 ……内
 - 下関市立豊田中央病院 ……総
 - 宇部興産中央病院 ……内
 - わたぬきクリニック ……総
 - 医療法人河野医院 ……総
 - 萩市国民健康保険川上診療所 ……総

- 近畿**
- 三重県立志摩病院 ……内
 - 橋本市市民病院 ……総
 - 大阪府済生会千里病院 ……救
 - 国立循環器病研究センター ……内
 - 京都大学医学部附属病院 ……麻
 - 兵庫県立尼崎総合医療センター ……救
 - 明石医療センター ……内
 - 神戸市立医療センター 中央市民病院…麻

- 北海道**
- 旭川医科大学病院 ……救
 - JCHO 札幌北辰病院 ……救

- 東北**
- 仙台厚生病院 ……内
 - 総合南東北病院 ……内
 - 大原総合病院 ……内

- 関東**
- 済生会宇都宮病院 ……救
 - 総合病院 水戸協同病院 ……内
 - 自治医科大学さいたま医療センター…内
 - 済生会川口総合病院 ……内
 - 東京ベイ・浦安市川医療センター…内
 - 亀田総合病院 ……内
 - 神奈川県立循環器呼吸器病センター…内
 - 横須賀市立うわまち病院 ……内
 - 川崎幸病院 ……内
 - 昭和大学藤が丘病院 ……内
 - 昭和大学横浜市北部病院 ……内
 - 湘南鎌倉総合病院 ……内
 - 国立病院機構相模原病院 ……内
 - 東京医科歯科大学医学部附属病院…内
 - 昭和大学病院 ……内
 - 昭和大学江東豊洲病院 ……内
 - 日本赤十字社医療センター ……内
 - 東京都立駒込病院 ……内
 - 東京都立多摩総合医療センター…内
 - 帝京大学医学部附属病院 ……救



- 四国**
- 宇和島徳洲会病院 ……総
 - 愛媛県立中央病院 ……内
 - 近森病院 ……内

- 中部**
- 市立大町総合病院 ……内
 - 伊東市民病院 ……内
 - 静岡がんセンター ……内
 - 聖隷浜松病院 ……内
 - 一宮西病院 ……内
 - 大同病院 ……内
 - 藤田医科大学岡崎医療センター ……内
 - 松波総合病院 ……内
 - 組合立諏訪中央病院 ……内
 - 福井大学病院 ……内
 - 富山大学附属病院 ……救
 - 南砺市民病院 ……内

ほか連携施設多数 **九州・沖縄**

- 九州大学病院 ……救
- 九州医療センター ……内
- 福岡大学病院 ……産
- 地域医療機能推進機構九州病院…麻
- 福岡市立こども病院 ……麻
- 浜の町病院 ……産
- IVF 詠田クリニック ……産
- 済生会福岡総合病院 ……産
- こどもクリニックもりた ……小
- 顕田病院 ……内
- 飯塚記念病院 ……内
- すどうクリニック ……産
- 松口循環器科・内科医院 ……内
- 上野外科胃腸科病院 ……外
- 鎌田病院 ……総
- 有松病院 ……産
- 産業医科大学病院 ……内
- 小倉記念病院 ……内
- 京都病院 ……内
- 久留米大学病院 ……小

- 聖マリア病院 ……産
- 田川市立病院 ……外
- 田川新生病院 ……内
- 社会保険田川病院 ……産
- 長末医院 ……総
- 米の山病院 ……総
- ゆげ子どもクリニック ……小
- 浜の町病院 ……内
- 福岡赤十字病院 ……内
- 健和会大手町病院 ……内
- 米の山病院 ……内
- 独立行政法人労働者健康安全機構九州労災病院…内
- 北九州市立医療センター ……内
- うえの病院 ……外
- 別府医療センター ……内
- 社会医療法人財団天心堂へつぎ病院…内
- 前田病院 ……内
- 唐津きたはた病院 ……総
- 佐賀病院 ……小
- 佐賀県医療センター好生館 ……内
- 済生会唐津病院 ……外

- 大分大学医学部附属病院 ……産
- 熊本赤十字病院 ……内
- 陣内病院 ……内
- 長崎医療センター ……産
- やなぎクリニック ……小
- 上五島病院 ……総
- 国民健康保険平戸市民病院 ……総
- 山内診療所 ……内
- 古賀総合病院 ……内
- 名瀬徳洲会病院 ……産
- 徳之島徳洲会病院 ……内
- 瀬戸内徳洲会病院 ……内
- 鹿児島市立病院 ……産
- 今村総合病院 ……内
- 沖永良部徳洲会病院 ……救
- 松岡救急クリニック ……救
- 沖縄県立八重山病院 ……総
- 沖縄県立中部病院 ……内
- 沖縄県立北部病院 ……総
- 中部徳洲会病院 ……内
- ハートライフ病院 ……内



〈病院概要〉

名称 株式会社麻生 飯塚病院
 開設 1918年(大正7年)8月
 開設者 株式会社麻生 代表取締役社長 麻生 巖
 所在地 福岡県飯塚市芳雄町3番83号
 病院区分 地域医療支援病院
 院長 本村 健太

診療科目 総合診療科/循環器内科/心不全ケア科
 呼吸器内科/呼吸器腫瘍内科/消化器内科
 肝臓内科/膠原病・リウマチ内科/腎臓内科
 内分泌・糖尿病内科/血液内科/脳神経内科
 小児科/リエン精神科/心療内科
 漢方診療科/外科/肝胆膵外科
 乳腺外科/呼吸器外科/呼吸器腫瘍外科
 心臓血管外科/血管外科/小児外科
 産婦人科/整形外科/脳神経外科
 眼科/耳鼻咽喉科/泌尿器科
 皮膚科/形成外科/麻酔科
 周術期管理科/歯科口腔外科/救急科
 集中治療科/放射線科/画像診療科
 放射線治療科/連携医療・緩和ケア科/感染症科
 リハビリテーション科/病理科

数字で見る飯塚病院

あなたの可能性を広げる
環境がここにあります

従業員数

2,388 名

医師362名/看護師1,027名/医療技術者570名/
事務・その他429名

病床数

1,048 床

(一般978床、精神70床)

外来患者数

1,619 人/日

398,359人/年

入院患者数

812 人/日

296,639人/年

救急患者数

19,416 人/年

(うち入院:7,021人、うち入院外:12,395人)

救急搬送受入件数

6,949 件/年

手術件数

6,352 件/年

診療科目

44 科

(2024年3月現在)

飯塚病院は2018年で 100周年を迎えました。

明治末年の筑豊地域には、公的な医療機関がなく、専門的な診断治療を必要とする患者は、福岡市の大学病院に通う以外ありませんでした。現社長の高祖父 麻生太吉翁は、郡に代わって自分が病院を建てる事を郡長及び郡議会に申し出て、受け入れられました。こうして設立された飯塚病院は、1918年(大正7年)8月9日より診療を開始しました。

当院は「郡民のために良医を招き、治療投薬の万全を図らんとする」開設の精神に基づき、一貫して地域医療の向上に努め、飯塚市を中心とする筑豊一帯の市民の病院として発展してきました。



診療開始時の病棟



創業者 麻生 太吉

処遇・福利厚生

■初期研修医

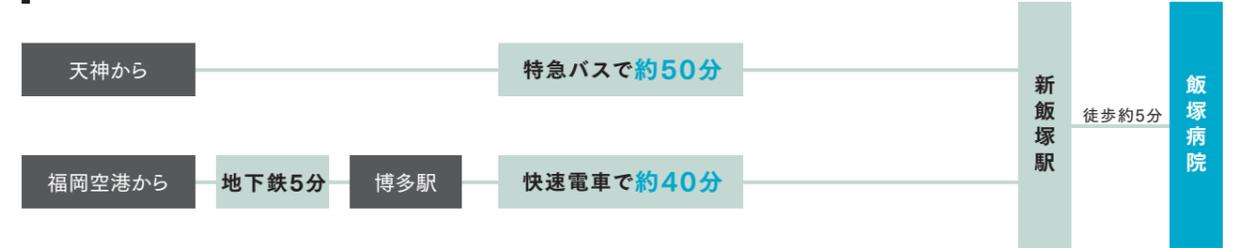
身分	2年契約による正社員
待遇	1年次/4,212,000円(月額:351,000円) 2年次/5,280,000円(月額:440,000円) ※時間外手当20時間相当額を含む ※平日夜間・休日勤務の場合は別途手当、食事を支給 ※住宅手当を含む
進路	研修終了後、希望者は審査の上、専門研修継続可能
その他	・住居:賃貸物件紹介会社(不動産会社など)の紹介あり ・学会参加費用など: 筆頭演者としての学会・研究会への参加は病院負担 筆頭演者以外での学会・研究会への参加、講習会の参加費用は年間15万円を上限として病院負担 ・入職時の引越費用は病院負担(上限あり) ・社会保険完備(雇用保険・労災保険・健康保険・厚生年金保険) ・院内で使用する白衣等のクリーニング費用は病院負担 ・福利厚生倶楽部による旅行・レジャー・グルメなどの割引サービスあり ・麻生グループの各種サービスを利用可能(ガソリン代や任意保険の割引など)

■専攻医

身分	常勤職員(専攻医)
給与	1年次/4,896,000円(月額:408,000円) 2年次/5,970,000円(月額:497,500円) 3年次/7,002,000円(月額:583,500円) ※賞与含む ※各種手当別途支給
進路	研修終了後、希望者は審査の上、スタッフ登用あり
その他	専門研修プログラムに応じた病棟での院内待機や時間外診療あり

共通事項	休暇/年次休暇・リフレッシュ休暇・忌引休暇・結婚休暇・出産看護休暇 保険/社会保険完備(雇用保険・労災保険・健康保険・厚生年金保険) その他/院内託児所・病児保育・入職時の引越費用負担・研修費15万円/年
------	--

アクセス



現地案内図



病院見学を受け付けています

専用フォームよりお気軽にお申し込みください。
病院見学の詳しい情報に関しては、飯塚病院ホームページをご覧ください。

